

# 町長所信表明

## 「選択と集中」の視点に立ち諸施策を推進

町の行財政は、依然として厳しい状況下にあります。私は、継続して更なる行財政改革に取り組み、財源の安定確保を図りながら、より一層「選択と集中」の視点に立ち諸施策を推進します。

そこで、安心して暮らせるまちづくりのために5つの安心を柱とし、今後4年間、町政運営に全力で取り組む所存です。

### 安心出来る子育てと教育の振興

町内小中学校校舎の耐震化工事や、延長保育、休日保育、学童保育の充実など、安心出来る子育ての環境作りを進めます。

### 安心出来る企業誘致と地場産業の育成振興

地域浮揚の鍵となる、インターチェンジや遠賀川渡架橋などの社会資本を活かし、町有地のオーダーメイドによる団地造成のPRなどに努め、企

業誘致を推進します。

### 安心出来る福祉の充実・男女共同参画社会の推進

町内の公共交通については、交通弱者に配慮しながら活性化計画を策定し、地域公共交通の充実、確保に努めます。また、コミュニティの醸成を図るため、共助、協働など、住民意識の醸成を図るとともに、ボランティア活動を積極的に支援します。

### 福祉施策としまして

は、高齢者や、障がい者の目線に立ち、また、健康づくりの施策の充実、男女共同参画の推進など、安心・長寿の町づくりを推進します。

### 安心出来る地域環境やインフラの整備

生活環境の整備としまして、公共下水道の普及率向上、上水道の水質改善や、住環境、防災対策として西川の改修事業や中山地区の内水型洪水対

策に取り組みます。

### 安心出来る行財政運営の確立

健全な町財政の確立に努めるため、更なる行財政改革の推進、行政評価結果の精査・実行により、行政のムダを省き効率化を図ります。また、産業振興としましては、町内の農、工、商が連携出来る環境づくり、鞍手ブランド品・製品づくりを支援し、地場産業の育成と産業振興を推進します。

誰もが「いつまでも住み続けたい、安全で安心出来る、魅力ある鞍手町」「子育て出来る環境の充実」など、若者が定住出来る町づくりの実現を目指すし、町民の皆様と力を合わせ、知恵を出し合い、協働と互助を基本理念として、将来に繋がる自立した町づくりに全力を傾注して参る所存です。

## 条例の改正

町長の給料月額額の減額率10%に  
特別職の職員の給与に関する条例

(全員賛成で可決)

行財政改革に先駆けて、町長自ら、平成22年7月から平成26年3月までの間、給料月額を10%削減する特別職の職員の給与に関する条例が交付・施行されました。また、町長の給料月額額の減額に伴い、副町長7%、教育長5%を減額することになりました。この条例の制定により特別職の職員の給料の削減額は、年間で約200万円、期間中で約800万円が見込まれます。

## その他の議案

(全員賛成で可決)

- 国民健康保険条例
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- 職員の育児休業等に関する条例
- 一般職の職員の給与等に関する条例
- 鞍手分校授業料等徴収条例

# 意見書

議員発議による意見書2件を全員賛成で可決し、関係機関あてに送付しました。

【要旨】今なお、人類は核兵器の脅威から解放されていません。政府においては、核兵器の廃絶と恒久平和の実

## 核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書

し、その実現に向けて取り組むこと。  
2. 非核兵器地帯構想が世界平和の維持に重要な

内閣総理大臣 菅 直人  
外務大臣 岡田克也  
衆議院議長 横路孝弘  
参議院議長 江田五月

現のため、左記事項について強力に取り組まれることを要望します。  
1. 政府は、国是である非核三原則を堅持するとともに、平和市長会議が提唱する平成32年までに核兵器の廃絶をめざす「2020ビジョン」を支持  
【送付先】  
内閣総理大臣 菅 直人  
外務大臣 岡田克也  
衆議院議長 横路孝弘  
参議院議長 江田五月

【要旨】1994年にOECD（経済協力開発機構）で採択された「拡大生産者責任」は、国内では産業界の負担増を理由に拒否されていますが、処理・リサイクルコストが上乗せされた商品は、最終的には消費者が購入することで消費

## 「拡大生産者責任」、「デポジット制度」の導入で循環型社会の再構築を求める意見書

問題解決に「デポジット」（預かり金上乘せ）制度を導入することで、21世紀の循環型社会のモデルが実現可能となります。市町村は厳し

は産業界の負担増を理由に拒否されていますが、処理・リサイクルコストが上乗せされた商品は、最終的には消費者が購入することで消費  
【提出者】  
福岡県町村議会議長会  
【送付先】  
内閣総理大臣 菅 直人  
総務大臣 原口一博  
財務大臣 野田佳彦  
経済産業大臣 直嶋正行  
環境大臣 小沢鋭仁  
衆議院議長 横路孝弘  
参議院議長 江田五月

# 陳情

【要旨】生活保護制度は、我が国の社会保障制度における最後のセーフティーネットであり、国が責任をもつて、その水準を確保すべきものです。  
70歳以上の生活保護受給者に月々生活扶助として支給されていた生活保護の老齢加算は、平成16年度から3年間毎年削減され、平成18年度に全廃となりました。そのため、70歳以上の高齢者は生活扶助費

## 生活保護の「老齢加算」復活を要求する国への意見書を求める陳情

の2割近くが削減され、生活が困難となつていきます。  
こうした状況のもとで、生活保護制度をより

【陳情項目】  
生活保護の老齢加算を復活すること。  
【陳情者】  
福岡県生活と健康を守る連合会  
【送付先】  
内閣総理大臣 菅 直人  
総務大臣 原口一博  
厚生労働大臣 長妻 昭  
衆議院議長 横路孝弘  
参議院議長 江田五月

# 常任委員会活動報告

## 民生産業委員会

民生産業委員会は、6月25日、新築移転した学童保育所（鞍手自然クラブ）と排水機場及び谷山池の現状を把握するため、現地視察を行いました。

### ▼学童保育所

鞍手学童保育自然クラブは、平成8年に旧鞍手分校跡地に放課後児童対策事業として建設されました。プレハブ平屋建ての建物は老朽化が著しい



担当課長から学童保育所の説明を受ける委員

ため平成21年度国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金により、新築されました。今回の現地調査では、入所状況や保育内容などについて、担当課長及び実際に保育を担当している指導員の方から説明を受けました。

### ▼排水機場

西川沿いに8カ所ある排水機場の調査では、設置している排水ポンプの稼働状況や管理体制について担当班長から説明を受けました。施設によっては、ポンプの老朽化が



担当班長から排水機の説明を受ける委員

進んでいるなど、梅雨時期の大雨に対応出来るよう定期的な保守・点検を行うことなどの申し入れをしました。

### ▼谷山池

現地視察最後の谷山池は、鉾害による用水の効用阻害を回復するための施設で、パイプラインを通じて、約180haの水田に用水を供給しています。今回の現地視察では、供給状況や施設の管理状況を担当班長から説明を受けました。



満々と水を湛える谷山池

## 新しい人事

### 人権擁護委員の再推薦に同意

人権擁護委員 毛利芳太郎氏、水摩加代子氏、林 正隆氏の任期が平成22年9月30日で満了するため、再度候補者として再度推薦することに同意しました。



林 正隆氏 (61 歳)



水摩 加代子氏 (63 歳)



毛利 芳太郎氏 (65 歳)